

<ミツキ先生の「weekly/monthly」はホームページに掲載しています>

ミツキ先生の Weekly/Monthly No84. (6/15)

□読書の時間② 『しごとば』 作・絵：鈴木 のりたけ ブロンズ新社



■『しごとば』美容師、新幹線運転士、すし職人、自動車整備士、木のおもちゃ職人、革職人、歯医者、パティシエ、グラフィックデザイナー、ぼくのしごとば

絵本作家の鈴木のりたけさんは、一橋大学社会学部卒業後 JR 東海勤務、グラフィックデザイナーを経て絵本作家になった経歴の持ち主。小学生のころは弁護士を夢んでいたそう。さまざまな職業取材し、仕事の現場や使っている道具、仕事の流れなどを圧巻のイラストで紹介する絵本。いろいろな仕掛けを見つけるのも楽しい。興味を持てる仕事にぜひ出会ってほしい。シリーズ全6巻の詳細をご紹介します。今回はシリーズ1作目『しごとば』から2つご紹介！！

●革職人

<しごと紹介>

カバン、ベルト、定期入れ、ランドセル—革製品はじょうぶで長持ち。革をていねいにぬいあげて、ずっとたいていせつにしてもらえるような、すてきな革製品をつくるのが、革職人のしごとです。お客さんの好みをきいて、デザインをおこし、ひとはりずつぬっていく手ぬいの革カバンは、きちんと手入れをすれば、何十年も使えます。(原文のまま)

<どうぐ>

ねん、目打ち、包丁、革、ウマ、ミシン ※イラストと説明文で紹介

<手ぬいの革カバンができるまで>

1.お客さんのオーダーをじっくりきく 2.ぬい見本をつくる 3.型紙をつくり、型紙に合わせて、部品となる革を切りだす 4.ぬい合わせる部分を革すきでうすくすき、目打ちで糸を通す穴をあけていく 5.ポケットのぬいつけ、かざりぬいなどを先にすませ、金具もつける 6.革のふちを整える。角にまめかんなをかけ、ふのりでみがき固める 7.ぬい合わせる部分を、ゴムのリや接着剤で接着する 8.糸にろうをすりつけ、2本のはりで、8の字にしめつけるようにぬっていく 9.底の部分をぬいあわせる 10.本体の革、口わく、内ばりの布を、いっぺんにぬい合わせていく 11.かぶせやもち手をしっかりとぬいつける 12.汚れをとり、やわらかい布でからぶきして完成

●グラフィックデザイナー

<しごと紹介>

世の中には、いろいろな商品がありますが、ただ商品をつくただけでは、なかなか売れません。そこで、商品の良さをお客さんにつたえる、広告やパッケージが必要になります。それをつくるのが、グラフィックデザイナーのしごとです。絵や写真、文字などを組みあわせて、ポスターやカタログ、カレンダーや雑誌など、あらゆるものを、きれいにかっこよくデザインします。(原文のまま)

<どうぐ>

マック(パソコン)・のり・写植級数表・ポケットマイクロスコープ・紙見本 ※イラストと説明文で紹介

<ジュースのパッケージができるまで>

1.打合せ 2.アイデアを考える 3.デザインラフをつくる 4.ラフを見せて話し合う 5.カメラマンによるマークの撮影 6.写真データをマックで組みあわせる 7.デザインをボトルにまいてサンプルをつくる 8.サンプルにクリアシートをはって実際の仕上がり近づける 9.できあがったサンプルを見ながら、最終会議 10.OK がでたら、入稿データを印刷所に入稿する 11.印刷所で色をチェック 12.パッケージの完成

□石川塾のあれこれ 113

新規生徒随時募集中！！

未就園児：月曜・金曜(午前)//就園児：月曜・金曜(15時～17時)

小学生以上 月曜～金曜(15時～21時) 土曜は個別授業(相談)

兄弟姉妹、お友達お知り合いをご紹介ください。紹介者には謝礼があります。